

栃木市人権施策推進審議会 会議録

会議の概要

開催日時	令和2年12月22日（火）14時00分から	
開催場所	栃木市役所 3階 正庁A B	
出席者の氏名	委員	平島善雄（宇都宮地方法務局栃木支局） 谷中慶子（栃木市女性団体連絡協議会） 関口茂一郎（栃木市人権擁護委員協議会第一分会） 坂本邦雄（栃木市身体障害者福祉会） 後藤聡子（栃木市社会教育委員） 湯本康弘（公募委員） 野口邦子（栃木市民生委員児童委員協議会連合会） 氏家 晃（市議会） 川田 薫（部落解放同盟栃木市協議会） 浅野貴之（市議会） 石崎光夫（部落解放愛する会栃木市協議会） 南斉好伸（副市長） 峰岸晃一（栃木市自治会連合会） 青木千津子（教育長）
	事務局	高久一典（人権・男女共同参画課 課長） 小林晴美（人権・男女共同参画課 係長） 竹山仁人（人権・男女共同参画課 主事）
議題	(1) 正副会長の選出について (2) 栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）令和元年度年次報告書について (3) その他	
傍聴人の数	1名	
配付資料	次第 栃木市人権施策推進審議会委員名簿 栃木市人権施策推進プラン（第2期計画） 栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）令和元年度進捗状況年次報告書 令和2年11月18日（水）栃木市パートナーシップ制度に関する新聞記事 切り抜き	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から、「栃木市人権施策推進審議会」を開会いたします。</p> <p>私は、本日の進行役を務めさせていただきます、人権・男女共同参画課の高久と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に入る前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、会議次第です。</p> <p>次に、審議会委員名簿です。</p> <p>次に、栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）です。</p> <p>次に、栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）令和元年度進捗状況年次報告書です。</p> <p>最後に栃木市パートナーシップ制度に関する新聞記事の切り抜きです。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、市を代表しまして、南斉副市長よりご挨拶をお願いします。</p>
副市長	(あいさつ)
事務局	<p>続きまして、議題に入りたいと存じますが、委員改選後初めての審議会でありますので、恐れ入りますが、自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>お配りしてございます資料の「審議会委員名簿」の順番でお願いしたいと存じます。</p> <p>なお、名簿番号10番の大出美江子委員におかれましては、所用のため、欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、平島委員からお願いいたします。</p>
各委員	(自己紹介)
事務局	<p>続きまして、事務局の職員につきましても、自己紹介により紹介させていただきます。</p>
事務局	(自己紹介)
事務局	<p>次第3の議題に入らせていただきます。</p> <p>議長につきましては、条例第6条により会長が議長となりますが、現段階では、会長が決まっておりませんので、暫定的に南斉副市長が議長となりますことをご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>それでは、南斉副市長、議長席をお願いいたします</p>

発言者	発言要旨
議長 (暫定)	<p>暫時、議長を務めさせていただきます副市長の南斉です。この会議が円滑に進みますよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議題に入ります。(1) 正副会長の選出について、でございますが、条例第5条第1項の規定により委員の互選によると定められております。互選につきまして、どなたかご意見ございましたらお願いいたします。</p>
委員	事務局案を示してもらうのはいかがでしょうか。
議長 (暫定)	ただいま事務局案を示してもらうとの意見がありましたが、皆さんいかがでしょうか。
全委員	異議なし
議長 (暫定)	それでは事務局案がありましたらお願いします。
事務局	事務局案としましては、会長を人権啓発という視点から、前会長でもあり、関係団体の部落解放同盟栃木市協議会議長の川田委員に、副会長を人権教育という視点から、栃木市社会教育委員の後藤委員になっていただいております。
議長 (暫定)	それでは、今の事務局案でいかがでしょう。
全委員	異議なし。
議長 (暫定)	ご異議がないようですので、会長を川田委員に、副会長を後藤委員にお願いしたいと思います。以上を持ちまして、議題(1) 正副会長の選出については終わります。次の議題(2) につきましては、会長が議長となりますので、ここで私の議長の任を解かせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。
事務局	正副会長が決まりましたので、ご挨拶をお願いいたします。
正副会長	(あいさつ)
事務局	ありがとうございました。議題を再開したいと思いますので、会長は議長席をお願いします。
議長	<p>議長を務めさせていただきます川田です。この会議が円滑に進みますよう、皆様のご協力をお願いします。それでは、議題に入ります。</p> <p>(2) 栃木市人権施策推進プラン(第2期計画) 令和元年度年次報告書について、事務局より説明をお願いします。</p>

発言者	発言要旨
事務局	(説明)
議長	ただいま事務局より栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）令和元年度年次報告書について説明がありましたが、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。
委員	P19 栃木市人権施策推進審議会での意見にもある通り、貧困児童の問題があります。貧困の家庭ほど受ける教育のレベルが低いという報告があり、現在家庭の貧困と教育の相関関係の分析が盛んに行われていて、このことに関する論文も発表されています。こういった研究は新しいものなので、まだ本になっていないことから、広く世間に浸透はしていない状況ですが、貧困児童への人権上の配慮やサポートをするための施策が有った方が良いと思います。P17(3) 児童虐待防止の取組における子育て支援に係わる内容かと思しますので、ここに新たに項目を追加してはいかがでしょうか。
事務局	所管課と協議の上、新たに報告書内に記載する方向で検討いたします。
議長	よろしいですか。
委員	はい。
議長	他にございますか。
委員	P16(2) いじめや不登校の問題に対する取組のb. 相談体制の充実における家庭児童相談のところなのですが、相談件数延べ4,409件と報告されています。家庭相談員2名で対応したとありますが、2名でこれだけの件数の相談に対し十分な対応ができているのでしょうか。また、延べ件数ではなくて総ケース数で言うと、何ケースの相談が寄せられたのでしょうか。
事務局	こちらの相談件数についてですが、総ケース数については、担当課に確認のうえ、後ほど改めて報告させていただければと思います。
議長	他の委員の方向かご意見等ございますか。

発言者	発言要旨
委員	<p>P34 災害に伴う人権問題ですが、事務局においても施策の絶対数が足りないため、今後深めていきたいと以前お話がありました。これから深めていくにあたり私達の意見がどれだけ反映していただけるのかなと思、同ページ下部の意見欄に意見を出させていただきました。</p> <p>災害に遭われた方々には長い期間にわたり様々な支援が必要となります。また、被災された方とそうでない方で災害への意識の格差が非常に大きいのが現状だと思います。それに対しどのような取り組みをしていくかについては、緊急時、災害時に限った話ではないと思います。具体的にはどのような方向性で施策の検討をされていますか。</p>
事務局	<p>災害時の人権の確保については、非常に重要なことだと認識しております。現在の状況ですが、避難所における避難生活上の人権への配慮というものが主なものであり、その他の日常生活等については、様々な補助制度や融資制度で対応している状況です。今後も洪水に遭った経験がありますので、それを踏まえて人権へ配慮していかなければならないと考えております。</p>
委員	<p>漠然とした意見ですのでお答えしづらいかと思しますので、一つ具体的にお聞きします。P31(1)ですが、危機管理課による出前講座ということが記載されています。こちらは前回の災害直後に前出講座という形をとられたのか、それとも平常時の時からこのような取組をされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらは平常時から希望された団体等に向け実施しているものになります。</p>
委員	<p>昨年の災害の際、愛知県より応援の職員が来ていただきました。その際避難所に避難してきた方々の災害後の状況を追跡してデータとして処理できるシステムを紹介され導入したはずですが、その後コロナの影響もあり検証していないのですが、避難者に向けたアフターフォローのために危機管理課においてこのシステムを利用してデータ化していたはずですが、今回このような意見をいただいたので、確認をさせていただきます。</p>

発言者	発言要旨
議長	<p>この前の台風の時、私の自宅付近の高齢者のご自宅に田んぼから藁が流れてきて溜まっていました。その際社会福祉協議会へ連絡したところ、個人の土地については個人で片付けしてくださいと言われました。その方は高齢ということもあり、とても片付けできない状況でした。それを受け私の方で社会福祉協議会へ出向き、状況を説明してなんとかしてもらいたいとお願いした所、社会福祉協議会の方でボランティアの方々を手配していただけたのですが、その方々の乗ってきたバスを見て観光にでも来たのかと言っている人もおりました。こういったこともあり、災害に遭われた方とそうでない方の意識の差というものはたしかに感じます。災害に遭われた方々のその後の生活状況や心のケアをしていただけたらと思います。</p>
議長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>この報告書はどのような事業・施策を、いつ、どの程度の規模でやったかをまとめてあります。P36の方に意見を出させていただきましたが、人権の本来の活動の意を考えますと、民意の変化が読み取れるようなまとめがあるべきかと思えます。要するに、その事業に参加することで心境の変化が起きた等民意の変化が汲み取れるようにすると個人的にはありがたいと思ひましてこのように意見させていただきました。せっかくの機会なので皆様はどのようにお考えなのかお聞かせいただけたらと思ひ挙手しました。</p>
委員	<p>民意の変化が読み取れるようなまとめ方をという話ですが、非常に大変だと思ひますが、必要性はあると思ひます。栃木市民の人権意識がどのように変わったかということがわかれば非常に素晴らしいと思ひます。グラフ化したり数値化することは難しいと思ひますが、例えば参加者の意見を箇条書きで掲載することはできるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>研修や講演会の際にはアンケートをとるようにしていますので、アンケートに寄せられた参加者のご意見をいくつか抜粋して掲載する形を考えたと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>良いと思ひます</p>
議長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p>
委員	<p>各分野別施策の最後に考察という項目があるが、現状実施報告しか書かれていません。考察というからにはここにはある程度施策ごとの成果と課題のようなものが含まれると良いと思ひます。</p>

発言者	発言要旨
事務局	その件につきましては持ち帰り早速検討させていただきます。
議長	他に何かございますか。もし無ければ今日出た意見も踏まえて修正していただき、年次報告書としていただくということによろしいでしょうか。よろしければ、拍手をお願いします。
全委員	(拍手)
事務局	本日皆様からいただいた意見を基に検討修正を行いまして、委員の皆様にお送りさせていただく形でご了解いただけますでしょうか。もう一つ、誤字脱字が散見されますので、その点も踏まえて修正させていただきます、お送りさせていただきます。
議長	ありがとうございます。そのようにお願いしたいと思います。 続いて（3）その他についてですが、事務局の方から何かありますか。
事務局	情報提供としまして、本日お配りしました新聞記事をご覧ください。栃木市ではパートナーシップ宣誓制度を11月1日から施行しました。同月17日に第一号の証明書を発行したところです。それから、本日皆様にお配りしていますカレンダーについてですが、宇都宮地方法務局と栃木県人権擁護委員連合会による、子ども人権絵画コンテストに出展された作品を掲載しており、毎年人権カレンダーとして作成しています。こちらを各施設や関係団体等に掲示依頼を行い、啓発活動を行っています。
議長	ありがとうございます。委員の皆様から何かございますか。
委員	P17に記載のあるSOSミニレターという取組を行っているのですが、いじめ対策会議によると本年度になりいじめられていると感じている児童が2割程度増えているとのアンケート結果が出たそうです。その割には、こちらに相談に来る児童の数は少ない。コロナと同じく重症化した方しか相談に来られないのかなと思いました。いじめ対策会議で拝見したデータとこの報告書に記載したSOSミニレターの相談件数とでミスマッチがあったので、気になりました。
委員	栃木第四小学校給食調理員の新型コロナウイルス罹患の件について、これは人権感覚の欠如だと思います。地方公務員法における信用失墜行為です。教育委員会において人権感覚を養うための研修を行い、広報等を通じて市民向けに周知することが必要だと思います。

発言者	発言要旨
議長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。なければ（3）その他については終了させていただきます。</p> <p>以上で本日の議題はすべて終了しました。これを持ちまして、議長の職を解かせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
	閉会